

昭和五十四年九月招集

第三回館山市議定会定例会會議錄

館山市議會



# 目次

## ○第一号(九月三日)

開 会	六
議長の報告	六
議案の配付	六
会議録署名議員の指名	六
会期の決定	七
会議日程の決定	七
議案第三十九号ノ議案第四十八号(提案理由の説明)	七
延 会	一一
本日の会議に付した事件	一一

## ○第二号(九月五日)

開 議	一五
行政一般通告質問	一五
石井 武敏君の質問、当局の応答	一五
林 豊君の質問、当局の応答	二五
神田 守隆君の質問、当局の応答	二九
散 会	三七
本日の会議に付した事件	三七

## ○第三号(九月六日)

開 議	四二
議案第三十九号ノ議案第四十四号	四二
石井 武敏君の質問、当局の応答	四二
神田 守隆君の質問、当局の応答	四九

横溝 功君の質問、当局の応答	五一
栗原 一雄君の質問、当局の応答	五三
安西 益男君の質問、当局の応答	五五
発言の取り消し	五七
日程の追加・議案第四十号撤回の件	五七
委員会付託	五七

## 議案第四十五号ノ議案第四十八号

穴戸 寿夫君の質問、当局の応答	五八
神田 守隆君の質問、当局の応答	六一
横溝 功君の質問、当局の応答	六五
委員会付託	六六

## 認定第一号ノ認定第七号

神田 守隆君の質問、当局の応答	六六
横溝 功君の質問、当局の応答	六九
決算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	七一
請願第三号	七二
説明	七二

## 委員会付託

延 会	七三
本日の会議に付した事件	七三

## ○第四号(九月十一日)

開 議	七八
議案の配付	七八
議案第三十九号、議案第四十五号	七八
総務委員会委員長報告	七八

神田 守隆君の討論	八〇
安西 益男君の討論	八一
採決	八二
議案第四十一号、議案第四十二号、議案第四十六号	八二
文教民生委員会委員長報告	八二
神田 守隆君の討論	八三
採決	八四
議案第四十三号、議案第四十四号	八五
議案第四十七号、議案第四十八号	八五
建設経済委員会委員長報告	八五
採決	八六
請願第三号	八七
文教民生委員会委員長報告	八七
継続審査について	八七
発議案第二号	八七
説明	八七
委員会付託の省略	八八
採決	八八
議案第四十九号	八八
説明	八八
委員会付託の省略	八八
神田 守隆君の討論	八九
採決	八九
議案第五十号	八九
説明	八九

林 豊君の質疑、当局の応答	九〇
委員会付託の省略	九〇
神田 守隆君の討論	九一
採決	九一
閉 会	九一
本日の会議に付した事件	九一

第三回館山市議会议定例会议議録（第一号）



一、昭和五十四年九月三日（月曜日）午前十時

一、館山市役所議場

一、出席議員 三十名

一 番	神田 守隆	二 番	石井 謀
三 番	綱島 憲治	四 番	横溝 功
五 番	福原 勤	六 番	鈴木 活龍
七 番	古賀 礼四郎	八 番	石井 昌治
九 番	松下 正己	一〇 番	矢野 寿夫
一 番	林 豊	一 二 番	栗原 一雄
一 三 番	近藤 好雄	一 四 番	渡辺 昭夫
一 五 番	伊藤 幸太郎	一 六 番	押元 稔
一 七 番	黒川 平治	一 八 番	流山 源次郎
一 九 番	石井 輝久	二 〇 番	石井 武敏
二 一 番	吉田 勇治郎	二 二 番	藤田 益治
二 三 番	菊井 敏博	二 四 番	和田 一郎
二 五 番	五十嵐 昇	二 六 番	伊賀 多朗
二 七 番	石井 正	二 八 番	安沢 徳順
二 九 番	安西 益男	三 〇 番	山口 康

一、欠席議員 なし

一、出席説明員

市 長	半澤 良一	助 役	小倉 澄男
収入 役	長谷川 広治	市長公室長	汐崎 政光
総務部長	鈴木 弘道	経済部長	太田 博雄
民生部長	鈴木 力	水道課長	庄司 利光
教育委員長	関 和雄	教育長	安田 豊作

一、議事日程（第一号）

昭和五十四年九月三日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

一、出席事務局職員

事務局長 高尾 豊

書記 兵藤 恭一

書記 庄司 徹

書記 嶋田 範夫

事務局長補佐 石井 敏夫

書記 鈴木 哲

書記 嶋田 範夫

一、議事日程（第一号）

昭和五十四年九月三日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

一、出席事務局職員

事務局長 高尾 豊

書記 兵藤 恭一

書記 庄司 徹

書記 嶋田 範夫

事務局長補佐 石井 敏夫

書記 鈴木 哲

書記 嶋田 範夫

日程第四

徴収条例の制定について

議案第四十五号

昭和五十四年度館山市一般会計補正予算(第一号)

開

会計収支決算の認定について  
会 午前十時十分開会

議案第四十六号

昭和五十四年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

議案第四十七号

昭和五十四年度館山市国民宿舍特別会計補正予算(第一号)

議案第四十八号

昭和五十四年度館山市水道事業特別会計補正予算(第一号)

認定第一号

昭和五十三年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について

認定第二号

昭和五十三年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第三号

昭和五十三年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第四号

昭和五十三年度館山市国民宿舍特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第五号

昭和五十三年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第六号

昭和五十三年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第七号

昭和五十三年度館山市水道事業特別

議長 の 報 告

。議長(石井 正君) 本定例会議案審議のため、地方自治法第二百一十一条の規定による出席要求に対し、お手もとに配付のとおり出席報告がございましたので御了承願います。  
なお、監査委員より六月及び七月実施の監査の結果が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議 案 の 配 付

。議長(石井 正君) ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。配付漏れはございませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

。議長(石井 正君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。四番議員横溝 功君、二五番議員五十嵐 昇君、以上両君を指名

いたします。

## 会 期 の 決 定

○議長（石井 正君） 日程第二、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営協議会の意見は本九月三日から九月十一日までの九日間ということであります。

お諮りいたします。会期を九日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて会期は九月三日から九月十一日までの九日間と決定いたしました。

## 会 議 日 程 の 決 定

○議長（石井 正君） 日程第三、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。

本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて会議日程は決定いたしました。

## 議 案 の 上 程

○議長（石井 正君） 日程第四、議案第三十九号乃至議案第四十八号及び認定第一号乃至認定第七号を一括して議題とし、これより各議案の提案理由の説明を求めます。

### 提 案 理 由 の 説 明

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに第三回定例市議会を招集いたしました、当面する諸案件について審議をお願いすることといたしました。が、議員各位には、御多忙のところを御出席いただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例関係五件、一般議案一件、補正予算四件及び認定七件であります。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第三十九号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。が、今回、月額報酬表中に、新たに嘱託医二十五万円を加えようとする条例の一部改正をしようとするものであります。現在保健業務のうち、各種予防接種業務については、地元医師会の御協力を得て実施しておりますが、予防接種担当医師が開業医であるため、接種時間は午後の時間帯のみに制約されており、加えて乳幼児の予防接種につきましても、市民センターと公民館館山分館の二カ所を接種会場として実施してまいりましたが、このたびお願いする嘱託医は主として予防接種を担当するわけで、これにより午前中の予防接種も可能となり、接種会場も増設でき、被接種者の待時間も短縮できるものであります。

次に、議案第四十号 館山市災害住宅復旧資金の貸付けに関する条例を廃止する条例の制定についてでありますが、この条例は、当初、災害により罹災した市民に住宅復旧の資金を市が貸付け、早期更生の助長を図る目的をもつて制定されましたが、このたび住宅建設資金利子補給金交付制度を設けることとなり、多くの市民を対象とする弾力性あるこの制度を活用するため、さらには市民の持ち家制度をも推進していくため、今回本条例を廃止しようとするものであります。

次に、議案第四十一号 館山市福祉作業所の設置及び管理に関する条例の制定についてであります。かねて建設中の館山市福祉作業所を本年十月一日から開所するため、地方自治法第二百四十四条の二第一項の規定により、館山市福祉作業所の設置及び管理に関する条例を制定しようとするものであります。この福祉作業所は、在宅心身障害者を対象とした公の施設として、社会生活における適応性を高めるため、日常生活及び作業の技術指導を行い、その自立と助長を図ろうとするものであります。

施設の名称は、館山市福祉作業所とし、その位置は館山市湊四〇三番地、建坪五十坪、鉄骨平家建をもつて市内に居住する十五歳以上の通所可能な心身障害者を対象とするものであります。施設の管理、運営については、これら目的を効果的に達成するため、社会福祉法人館山市社会福祉協議会に委託しようとするものであります。

次に、議案第四十二号 館山市国民健康保険財政調整基金の設置管理及び処分に関する条例の制定についてであります。国民健康保険事業の健全な発展に資するため、地方自治法第二百四十一

条の規定に基づき、館山市国民健康保険財政調整基金を設け、その設置、管理及び処分に関する条例を制定し、館山市国民健康保険財政の円滑な運営を図ろうとするものであります。

基金の積立ては、当該年度の国民健康保険特別会計で定める額とし、基金の運用益は、国民健康保険特別会計の歳入歳出予算に計上の上、基金に編入するものであります。

なお、基金の処分は、財政調整上必要があるときは、基金の全部または一部を国民健康保険特別会計の歳入歳出予算に計上して処分することができるとするもので、この条例は公布の日から施行するものであります。

次に、議案第四十三号 土地改良事業の施行についてであります。が、市営土地改良事業を実施するに当たり、土地改良法第九十六条の二第二項の規定に基づき議会の承認を求めるものであります。本事業は、水田利用再編対策促進の一環として、乾田化、集団化を図るための転換水田整備事業によるは場整備を行うものであります。施行場所は市内中里字下田の一部及び大石字蒲生下の一部一・五三ヘクタールを受益とし、昭和五十四、五十五年度の二カ年で完了する計画であり、事業費は一千百万円以内、施行方法については、調査、設計、施行等は社団法人千葉県農業開発公社に換地、登記事務等は社団法人千葉県土地改良事業団体連合会にそれぞれ委託して実施しようとするものであります。

次に、議案第四十四号 館山市中里地区土地改良事業分担金徴収条例の制定についてであります。本条例は先ほど御説明申し上げた市内中里字下田の一部及び大石字蒲生下の一部を受益とした土地改良事業実施に伴う分担金徴収条例であります。

分担金の総額については、各年度毎に事業費の総額から国、県の補助金の額を除いた額の範囲内で定めるもののほか、分担金を負担すべき受益者分担金の積算基礎、徴収方法等について必要な事項を定めるものであります。なお、この条例は公布の日から施行されますが、昭和五十五年度で完了の予定でありますので、昭和五十六年三月三十一日で失効するものであります。

また、館山市坂井及び小沼地区土地改良事業分担金徴収条例及び館山市布沼地区農道改修事業分担金徴収条例については、分担金も滞りなく納入され、事業も完了しているため、この二条例を廃止するものであります。

次に、議案第四十五号昭和五十四年度館山市一般会計補正予算（第一号）であります。歳入歳出予算として、歳入歳出それぞれ三億三千五百四十八万円を追加し、総額八十三億五千九百二十四万円とするものであります。

歳出のうち、主なものとして、総務費で市長交際費の不足分として百万円、市庁舎議会棟ひさし及び玄関ポーチ屋根等修繕工事費の不足分として二百四十万円、県営那古山急傾斜地崩壊防止工事地元負担金で百万円のほか、近く予想されます衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費で六百八十八万円。

民生費として、九重保育園園舎改築工事費の不足分として五百四十万円。

衛生費として、国民健康保険財政調整基金への繰入金として二千万円、ごみ処理施設建設に関する環境影響調査委託料として五百万円。

農林水産業費として、館山市農業畜産振興組合が実施する畜産

農家のふん尿処理及び地方向上を図るため必要な施設建設費補助金として三千二百五十三万四千円、竹原地先から三芳村御庄に至る農道の改良に伴う設計委託料六百十五万円、館山船形漁協が実施する地域コミュニティ活動の中心となる施設建設費及び活動推進事業費補助金として五千三百三十八万円並びに同漁協が実施するクルマエビ中間育成事業の事業費の増加に伴う補助金の追加分として百二十四万五千円、これらの補助金はいずれも国、県支出金に市費を加えて補助するものであります。

土木費としては、道路舗装工事費で八百六十九万円、下水路工事費の追加分として七百五十万円。

教育費として、第三中学校建設に伴う体育館内装改良工事費、運動場整備工事費及び給水装置工事費並びに旧館山高枝校舎解体工事費の追加分等で総額三千二百四十万余円。

諸支出金として、前年度繰越金一億七千四百万余円のうち一億五千万円を地方財政法第七条の規定により財政調整基金として積み立てようとするものであります。

このほか、八幡高井線に係る都市計画街路用地取得事業について千葉県地方土地開発公社に委託し、国庫補助事業として施行する年度で市が買収するための債務負担行為並びに同事業を施行するため、千葉県地方土地開発公社が借り入れる資金に係る損失補償をするため債務負担行為の補正があります。また、地方債補正として、九重保育園園舎改築事業債ほかの変更があります。

次に、議案第四十六号昭和五十四年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）であります。一般会計からの繰入金をもつて財政調整基金に二千万円を積み立てようとするものであり

ます。

次に、議案第四十七号昭和五十四年度館山市国民宿舍特別会計補正予算（第一号）でありますが、鳩山荘改築工事費の不足分として三千五百万円の追加をしようとするものであります。

次に、議案第四十八号館山市水道事業特別会計補正予算（第一号）についてでありますが、今回の補正は去る三月三十日付で千葉県知事より許可があつた中央水道、南部西部簡易水道事業の経営を廃止して、同月三十一日付で館山市水道事業に一本化するための変更認可に伴う業務予定量の変更に關するものであります。

また、収益的支出について予定額百八十五万円を追加し、総額四億一千七百六十六万七千円に、資本的収入支出についてそれぞれ一千七十万六千円を追加し、収入支出それぞれ二億四千七百三十七千円にしようとするもので、この主なものとは館山北条地区の配水管布設工事請負費であります。

次に、認定第一号乃至第七号の諸案件は、いずれも昭和五十三年度館山市一般会計ほか六会計の歳入歳出決算の認定について、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して市議会の認定をお願いするものであります。

顧みまするに、昭和五十三年度における日本経済は、公共投資の大幅拡充、事業の早期執行、公定歩合の引き下げ、雇用対策等の財政措置により、民間の需要が堅調に推移するとともに、物価安定が続き、石油危機以降はじめて内需を中心として景気の回復傾向を持続するに至りました。しかしながら、十二月以降円安傾向を示すと同時に卸売り物価は海外一次産品を中心に上昇を示しており、樂觀できない状況にあります。

また、財政面では、五十年以来多額の公債に依存しており、地方財政もこうした影響を反映して多額の財源不足となり、国においては臨時地方特例交付金の交付税及び譲与税配付金特別会計への繰り入れ、同会計における資金運用部資金からの借り入れ、地方債の発行等により、引き続き所要の財源措置を講じているが、地方財政を取り巻く環境は厳しく、好転のきざしはない状況にあります。

このような状況の中で、本市においては国の財源措置に対応するとともに引き続き市における全般的な再検討を行い、経費の節減を図るとともに限られた財源を効率的にしかも重要度、緊急度の高い事業を計画的に執行することに配慮し、予算の執行に当たりましては、前年度決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会より御指摘、要請のありました事項を十分配慮しながら、人間尊重、市民生活優先を市政の根本理念として、明るく豊かな住みよい文化福祉都市の実現にむかつて、館山市根幹事業実施計画に基づく基本的条件の整備、生活環境の整備と社会福祉の充実、産業の振興、教育文化水準の向上に努めてまいりました。

この結果、昭和五十三年度の一般会計の決算においては、実質収支で一億七千四百一十二万二千余円の黒字決算を遂げることができました。

また、特別会計におきましては、その運営の合理化また適正化を図りながら、おおむね予算どおりの執行が確保されました。

水道企業会計におきましては、昭和五十二年度末で完成した水道第一次拡張事業により、本市の水道水源は大きく強化され、夏季を中心に増大する水道供給に対処し、安定した給水が可能とな

りました。

しかしながら、本年度は夏以降雨量が少なく、異常渇水が続き、特に作名ダムの貯水量が減少したため、急遽作名川下流から作名ダムへの揚水施設を仮設するとともに、山本浄水場改良工事、さらには各水道水源の見直し等、今後の生活用水確保のため全力を挙げました。また本年度事業として、館野、九重地区の水源調査を実施し、懸案であつた各水道の統合事業も事業認可となりました。

収支収支については、単年度五千百十六万余円の赤字、前年度からの累積赤字千七百四十八万余円。合計六千八百六十四万余円の赤字となりました。

水道は、市民生活を維持する上からも欠くことのできない重要な施設でありますので、今後とも一層経営の合理化に努め、健全な事業の運営に努めたいと存じます。

以上、昭和五十三年度の決算につきまして、その概要を申し上げますが、個々の施策につきましては、決算に関する主要な施策の成果に関する報告、歳入歳出決算事項別明細書等により御了承を賜りたいと存じます。

以上、本定例市議会において上程いたします各案件につきまして提案理由の説明を申し上げますが、なお、この会期中において、館山市教育委員会委員中一名の者がこの九月三十日付をもつて任期満了となりますので、この選任方について市議会の同意を得たく追加議案の上程をお願いする予定であります。

なお、市制施行四十周年を記念いたしまして、名誉市民についても御推薦申し上げ、議会の同意を得たいと存じております。

以上、申し上げますが、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。

議長（石井 正君） 以上で提案理由の説明を終ります。

延 会 午前十時三十分延会

議長（石井 正君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明九月四日は議案調査のため休会、次会は九月五日午前十時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。この際申し上げます。各議案並びに決算についての質疑通告の締め切りは九月五日正午まででありますので、申し添えます。

。本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、会議日程の決定

一、議案第三十九号乃至議案第四十八号、認定第一号乃至認定第七号

